

令和6年度 自己評価表

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標	実績値	目標値	評価 (自己評価の結果)	改善策
					令和5年度	令和6年度		
学び続ける力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びを推進し、基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、児童自らが粘り強く学習に取り組もうとする力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別最適な学びと協働的な学びの一体的に推進し、授業改善を進める。 (「主体的な学び」が定着している児童の割合) 基礎・基本の定着を図る。 (江田島市学力調査の各教科の合計点が、目標値を上回った学年の数) 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育を推進し、資質・能力の育成を目指した授業改善を継続的に行い、学びの自立化を進める。 4つの資質・能力を教職員と児童が共有し、取組をフィードバックさせる中で、主体的な学びをより一層定着させる。 プリント学習に加え、タブレット端末等も効果的に活用し、つまずきのある児童への具体的な手立てを工夫する。 家庭学習において自主学習の方法を工夫し、児童自らが、課題と思う単元の学習を選択的に行わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的な学び」が定着している児童の割合 児童同士の学び合いがある授業づくり (教師アンケート) 江田島市学力調査の各教科の合計点が、目標値を上回った学年の数 	76%	80%		
思いやりのある心の育成	<ul style="list-style-type: none"> 互いの個性や多様性を認め合い、安全・安心な学級づくりを実現し、児童自らが主体的に活動しようとする力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら進んで行動することを通して、児童の自己肯定感や自己有用感を高める。 (自己実現力・自己有用感がある児童の割合) 自分の夢や目標をもち、実現に向かって努力する児童を育てる。 (目標に向かって努力する児童の割合) 	<ul style="list-style-type: none"> 校外外でボランティア活動を継続実施する中で、児童の行動を適切に評価し、価値付けをしていく。 道徳教育や人権教育の充実を図りながら、他者を思いやる心を育むとともに、児童の言動に対して的確な指導や評価を行う。 体験活動を計画的に仕組み、キャリアノート等も効果的に活用しながら、自己の目標や課題を視覚的に確認できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己実現力・自己有用感がある児童の割合 校内ボランティア活動への参加率 目標に向かって努力する児童 (児童アンケート) 	83%	85%		
健やかな心身の育成	<ul style="list-style-type: none"> 運動の楽しさを味わえる取組を推進し、体を動かす機会を習慣化させ、児童自らが体力向上を図ろうとする力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動習慣の確立に向け、粘り強く取り組む児童を育てる。 (「運動やスポーツが好き」と答える児童の割合) 自ら進んで、運動に親しむ児童を育てる。 (進んで運動に親しむ児童の割合) 食と健康の大切さに気付き、より良い生活習慣の定着に向け自己管理できる児童を育てる。 (朝食を毎日食べた児童の割合) (起床・就寝時刻の固定ができた児童の割合) 	<ul style="list-style-type: none"> 外遊びを奨励し、友達と関わりながら体を動かすことの楽しさを味わうことができるよう、各学級で遊び方等を工夫する。 体育委員会を中心に、異学年集団で遊べる外遊びを計画し、運動の楽しさを味わわせる。 体育の授業内で、サーキットトレーニングや単元に沿った準備運動を取り入れ、「瞬発力」「持久力」「跳躍力」に焦点化した種目に取り組ませる。 基本的な生活習慣の定着を図るため、生活リズムチェック等を活用した保健指導を実施させ、取組の充実を図る。 食に関する知識の習得及び実践できる能力の育成を目指し、学校医や栄養士と連携した給食試食会の取組を計画的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「運動やスポーツが好き」と答える児童の割合 1日1回以上外遊びをする児童の割合 起床、就寝時刻の固定が(7割以上)できた児童 朝食を毎日(7割以上)食べた児童 	小5男女 86%	小5男女 90%		
信頼に応える学校	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域住民等の協力を得ながら学校運営を行い、家庭やPTAと連携・協働した取組を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童、教職員の姿を通して、地域・保護者から信頼される教育活動を推進する。 (保護者の肯定的評価の割合) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートやいじめアンケート等を計画的に実施し、児童や保護者の思いを受け止めながら、教育活動を推進する。 保護者との連携を密にし、信頼関係を深めるとともに、ホームページや学校だより等で日常的な児童の成長を伝え、発信していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の肯定的評価 (保護者アンケート) 	87%	90%		
働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革を推進し、教職員が健康でやりがいを持って働くことができる環境を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 超過勤務時間を削減し、教職員がやりがいをもって働ける組織づくりを進める。 (教職員アンケートの肯定的評価の割合) (超過勤務時間の割合) 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員アンケート等も実施し、業務改善に向けた取組を継続的に行う。 日課等を工夫し、子供と向き合う時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供と向き合える時間の確保 (教職員アンケート) 超過勤務時間が45時間以内の教職員の割合 	76%	80%		
					56%	60%		

(2月末)